

黙示録 4章9節-5章6節 スタディーガイド

★ 黙示録 4章9節-11節

また、これらの生き物が、永遠に生きておられる、御座に着いている方に、栄光、誉れ、感謝をささげるとき、二十四人の長老は御座に着いている方の御前にひれ伏して、永遠に生きておられる方を拝み、自分の冠を御座の前に投げ出して言った。「主よ。われらの神よ。あなたは、栄光と誉れと力とを受けるにふさわしい方です。あなたは万物を創造し、あなたのみこころゆえに、万物は存在し、また創造されたのですから。」

二十四人の長老は、冠を捨てているのではなく、神様の御前に立つ時、冠を外していると受け止めることができます。

主の御前で自分たちが冠をかぶっていることを恥ずかしく思い、へりくだってひれ伏している様子です。

みこころゆえに、万物は存在し、また創造された

★ 黙示録 5章1節

また、私は、御座にすわっておられる方の右の手に巻き物があるのを見た。それは内側にも外側にも文字が書きしるされ、七つの封印で封じられていた。

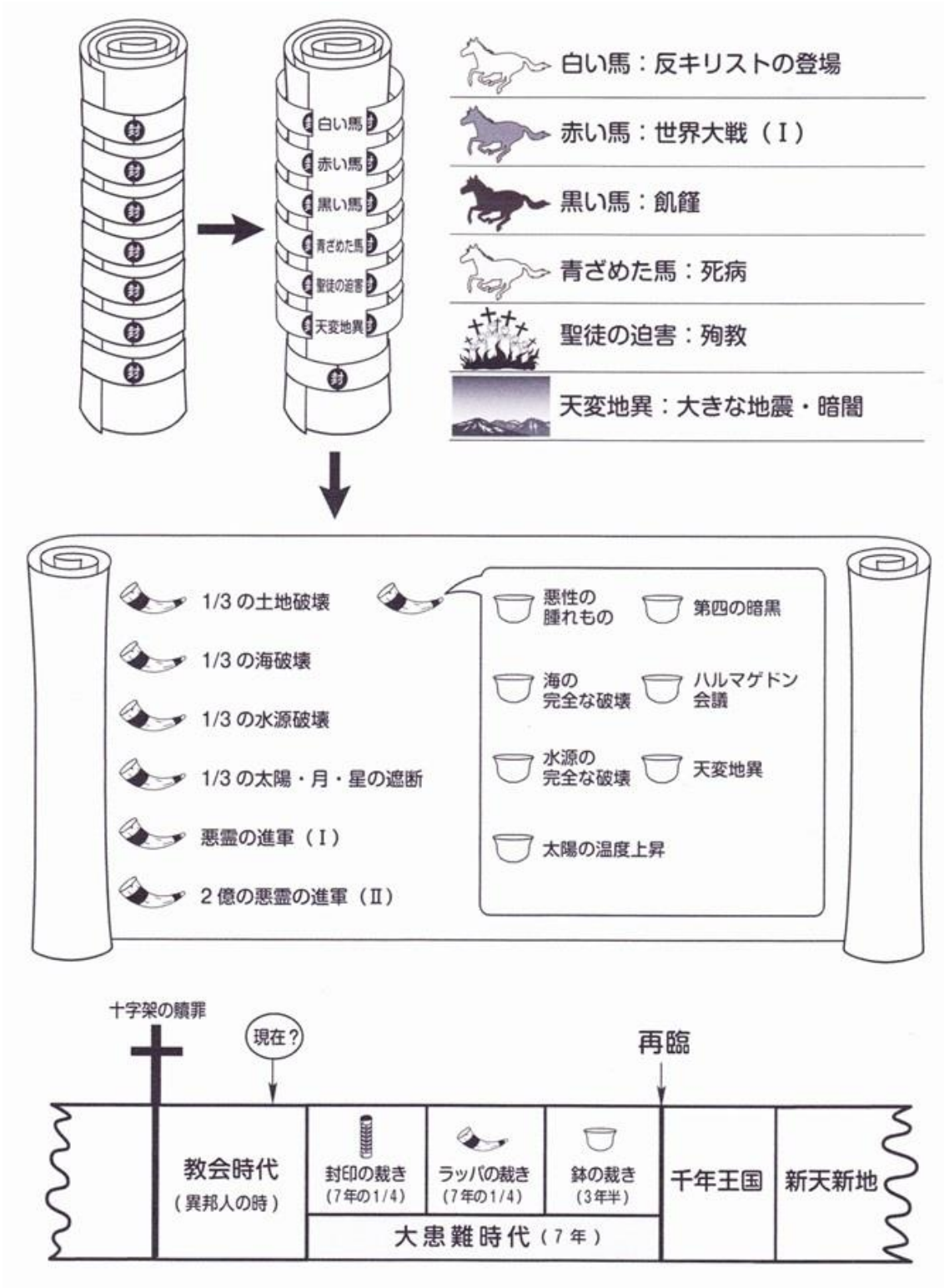
御座にすわっておられる方の右の手に巻き物があるのを見た

この巻物は、一般の巻物とは違って「内側にも外側にも文字が書きしるされて」います。

古代の巻物は、パピルスの紙または羊皮紙でできていました。イスラエルでは必ず羊皮紙が使われていました。

この巻物は恐らく7本のリボンのようなもので結ばれ、封印が押されています。

■裁き（災い）の図■



★ 黙示録 5章 2節-4節

また私は、ひとりの強い御使いが、大声でふれ広めて、「巻き物を開いて、封印を解くのにふさわしい者はだれか」と言っているのを見た。しかし、天にも、地にも、地の下にも、だれひとりその巻き物を開くことのできる者はなく、見ることのできる者もいなかった。巻き物を開くのに、見るのに、ふさわしい者がだれも見つからなかった。私は激しく泣いていた。

巻き物を開いて、封印を解くのにふさわしい者はだれか

天にも、地にも、地の下にも、だれひとりその巻き物を開くことのできる者はなく、見ることのできる者もいなかった (3節)

地にも、地の下にも、ふさわしい者がいないことは分かりますが、天には三位一体の全知全能の神様がいらっしゃいます。

巻き物を開くのに、見るのに、ふさわしい者がだれも見つからなかった。私は激しく泣いていた (4節)

封印が解かれたら、7年後に神の御国の到来です。それを解くのにふさわしい者が見つからないのは、神の御国の到来を止めているということになります。それゆえヨハネが激しく泣いているのです。

★ 黙示録 5章 5節

すると、長老のひとりが、私に言った。「泣いてはいけない。見なさい。ユダ族から出た獅子、ダビデの根が勝利を得たので、その巻き物を開いて、七つの封印を解くことができます。」

ユダ族から出た獅子、ダビデの根が勝利を得たので、その巻き物を開いて、七つの封印を解くことができます

ユダ族から出た獅子

★ 黙示録 5章 6節

さらに私は、御座——そこには、四つの生き物がいる——と、長老たちとの間に、ほふられたと見える小羊が立っているのを見た。これに七つの角と七つの目があった。その目は、全世界に遣わされた神の七つの御霊である。

「ユダ族から出た獅子」を見ようとして振り向くと

ほふられたと見える小羊が立っているのを見た

ユダヤ人は、メシアは敵から解放してくれる者と考えているので、イザヤ書 53 章 10 節で「彼を砕いて、痛めることは主のみこころであった。もし彼が、自分のいのちを罪過のためのいけにえとするなら、彼は末長く、子孫を見ることができ、主のみこころは彼によって成し遂げられる」と書かれている、贖いとなるメシアのことばは理解できていません

これはイエス・キリストにしか当てはめることができないため、ユダヤ人はイザヤ書 53 章を読みません。

これに七つの角と七つの目があった

その目は、全世界に遣わされた神の七つの御霊である

★ コリント人への手紙第一 12 章 3 節

……聖霊によるのでなければ、だれも、「イエスは主です」と言うことはできません。

聖霊様によらなければ、誰も救われることができません。

◆MEMO◆



OMEGA MINISTRIES
OMEGA BIBLE STUDY